

## 2020/11/28(土)に、第5回かがわ里海大学 交流の場「かがわ里海倶楽部」を開催しました！

かがわ里海大学交流の場「かがわ里海倶楽部」第5回会合を開催しました。

前回の会合で出た「かがわ里海大学の新しい講座」の様々なアイデアをもとに、令和2年度後期講座として、かがわ里海倶楽部プロデュース講座「たのしく脱プラ♪みつろうラップづくりワークショップ」を開催することになりました。

今回の「かがわ里海倶楽部」では、本番に向けた“プレ”ワークショップとして、参加者は“みつろうラップづくり”にチャレンジしました。

### ワークショップの様子



今回の参加者は8名！「たのしく脱プラ♪みつろうラップづくりワークショップ」の講師役は、かがわ里海倶楽部の会員である、“ふみふみ&マミタス”

まず、“ふみふみ”から参加者に、みつろうラップの作り方の説明がありました。

“みつろう”は蜂の巣から採れる“蠟(ろう)”のこと。みつろうラップは、“みつろう”を布に染み込ませて作ります。使い捨てのプラスチック製ラップの代わりに、おにぎりやサンドイッチ、パン、くだもの、野菜などを包んだり、ピンの蓋代わりにも使えます♪



**募集チラシに使えるような素敵な写真も撮れましたよ♪**

“みつろう”を湯煎で溶かし、アイロンを使い布全体に広げていきます。布全体に広げていく際に、“みつろう”が途中で固まったりするので、「アイロンで“みつろう”を溶かしながら広げていくイメージで！」など、コツを教えてもらいながら、作業を進めました。

みつろうラップを乾かす合間には、本番に向けた改善策として、「小さめの布で練習してから、大きい布にチャレンジしたらどうだろう?」、「蜂の巣を見せて、“みつろう”はここから採れますよーって説明するとわかりやすいかも!」など、参加者から貴重な意見をいただきました。

本番となる1月31日(日)開催「たのしく脱プラ♪みつろうラップづくりワークショップ」が楽しみです！

今年度は、新型コロナウイルス感染症により、感染防止のため新しい生活様式を提唱されるなど、これまでに体験したことのない波乱の幕開けとなりましたが、かがわ里海倶楽部は新型コロナウイルス感染防止対策を図りながら、これからも交流していきたいと考えています。

かがわ里海倶楽部に提案したいことや、「こんな仲間を募集しています!」などなど、ご意見ありましたら、下記の間合せ先までご連絡くださいね。